農業ひろさき

2022年８月１日　（第198号）
（令和４年８月１日）

編集と発行 ： 弘前市農業委員会
弘前市大字上白銀町1-1　前川本館3階　電話0172-40-7104

三村知事 弘前のりんご農家を激励



三村知事と園主の田村さん



あいさつをする三村知事

７月７日、三村申吾知事が岩木地区（葛原）の田村龍壱さん（ＪＡつがる弘前岩木支店りんご部会会長）の園地を訪れ、高品質りんごのりんご生産を呼び掛けました。会場には、地元生産者をはじめ出﨑副市長、清野市議会議長、成田農業委員会会長や地元県議会議員など、関係者約50人が集まりました。

三村知事と出﨑副市長は、生産者の努力に感謝の言葉を述べつつ、園主の田村さんらを激励しました。生産者との意見交換では、園主の田村さんから「国の改植事業の継続やりんごの販売ＰＲの強化」、森山大助さん（ＪＡつがる弘前りんご振興協議会副会長）からは「肥料や農業機材などの価格高騰に対する支援」を三村知事へ要望しました。最後に三上貴史さん（葛原りんご支会会長）の発声により、「安全・安心で高品質なりんごを世界に向けて発信しよう」と全員でガンバローコールをし、出来秋を祈りました。

「農業ひろさき」が農業委員会だより日本一の賞を受賞！

表彰を受ける成田会長（左）



農業委員会発行の「農業ひろさき」が第28回「農業委員会だより」全国コンクール（全国農業会議所、全国農業新聞主催）で応募27作品中、最高の賞である最優秀賞を受賞しました。最優秀賞の受賞は、平成11年、平成20年、平成26年に続いて４度目となり、埼玉県熊谷市と並び全国最多の回数です。

今回の受賞は年間発行数の多さ、タイムリーな情報提供と農業委員５人で構成する広報委員会が農家の視点で紙面を作成していることなどが評価されました。

成田会長から受賞報告を受けた櫻田市長は、「受賞は今までの積み重ねがあってこそ。これからも頑張ってほしい」と述べたのに対し、成田会長は、「今後も農家と行政の架け橋となる紙面作りに取り組みたい」と話しました。



日本一の受賞を市長に報告
（左から）髙橋広報副委員長、
成田会長、櫻田市長、
藤田広報委員長

農地パトロール（利用状況調査）実施中！

農地パトロール（利用状況調査）は、市内すべての農地について、その利用状況を把握することを目的に、以下の３点を重点として実施しています。

①　地域の農地利用の確認
②　遊休農地の実態把握
③　違反転用の発生防止・早期発見

利用状況把握のため、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局職員が農地内に立ち入ることもありますが、農地の利用促進につなげるための大切な調査ですので、ご理解とご協力をお願いします。

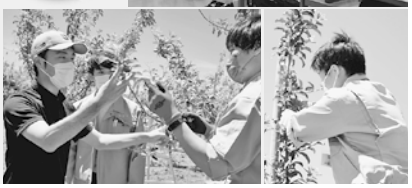
～重点地区農地利用状況調査～

市農業委員会（成田繁則会長）は、７月１日に重点地区農地利用状況調査を実施しました。今年は藤代地区を重点地区として位置づけ、地域の農地は地域で守るために、農業委員と農地利用最適化推進委員をはじめ、地元農業者等からなる農地活用支援隊、そして地元の事情に精通したつがる弘前農業協同組合職員等による８班の調査班を編成して調査を行いました。



■問い合わせ先　農業委員会農地利用促進係（市役所前川本館３階）☎４０－７１０４

弘前市新採用職員　りんご栽培研修を実施しました

今年４月に弘前市役所に採用された46人の新人職員を対象に、市の基幹産業であるりんごの基礎知識を身に付けるための「りんご栽培研修」が、青森県りんご協会の協力のもと、６月14日に市りんご公園で行われました。

市役所業務において、りんごに関する知識を要する部署も多いことから、研修では、りんごの一年を通した栽培方法や歴史を学びました。参加した職員は、「普段触れることのない作業が体験できた。この経験を今後の実務に生かしていきたい。」と話していました。

～樹園地の後継者がいなくてお困りの方へ～「園地継承円滑化システム」に登録する樹園地を募集します

市では、後継者のいない樹園地について、優良な農地と樹体を一体で担い手へ円滑に継承できるよう、新たに「園地継承円滑化システム」を構築し、詳細な園地情報を市ホームページ等で公開することとしています。

樹園地は営農できなくなってから、新たな担い手を探しても見つからない場合が多いため、事前に継承希望の意思表示をしておくことが重要です。

新たな担い手を事前に確保することを目的として、「園地継承円滑化システム」へ登録を希望する樹園地を募集しますので、ぜひご活用ください。

【さらに園地登録流動化奨励金制度があります！】

システムに登録された樹園地が、公開後に一定の要件を満たして継承された場合、園地の出し手に対して市から奨励金を交付します。

交付額…継承された樹園地の面積に対して、10アールあたり40,000円

※詳細については、担当へお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

⇒市ホームページ
http://www.city.hirosaki.aomori.jp/sangyo/nogyo/zyuenchi-keisyou.html

■問い合わせ・申込先　農政課農地支援係（市役所前川本館３階）　☎４０－０６５６

農業の「働き方改革」に向けた労務管理研修会の開催

◆日　　時　８月16日（火）　午後１時～午後４時
◆会　　場　岩木文化センター「あそべーる」（弘前市大字賀田一丁目18－４）
◆内　　容

①農業の労働力確保セミナー（午後１時～午後２時50分）
・労働条件等について、農業の働き方改革による魅力ある職場づくりに向けて
・弘前市職員の兼業について
・１日農業バイトアプリ「デイワーク」について



②農福連携セミナー（午後３時～午後４時）
・農福連携モデル事業の成果発表
・農福連携モデル事業の取組事例紹介（農業者・障がい福祉事業所）

※内容は変更になる場合があります。

◆定　　員　80名
◆対 象 者　農業者及び農業法人、農業に関心のある方、福祉関係者 等
◆参 加 費　無料
◆申込方法　８月12日（金）までに下記へお申し込みください。
※当日参加も可能です。
※定員に達した場合はお断りさせていただく場合もあります。

■問い合わせ・申込先　農政課地域経営係（市役所前川本館３階）☎４０－７１０２　FAX３２－３４３２
Email　nousei@city.hirosaki.lg.jp

収入保険加入に向けた青色申告に係る税理士個別相談会開催のお知らせ

【午前の部】９時30分～11時30分【午後の部】１時30分～３時30分

開催日	会　場	開催日	会　場
8月2日（火）	浪岡中央公民館 会議室（1） 住所：青森市浪岡大字浪岡稲村101-1	8月8日（月）	西目屋村中央公民館 住所：西目屋村大字田代字稲元143
8月2日（火）	大鰐町役場 第三会議室 住所：大鰐町大字大鰐字羽黒館5-3	8月8日（月）	田舎館村中央公民館 会議室 住所：田舎館村大字畑中字藤本159-1
8月4日（木）	黒石市産業会館 ４階小会議室 住所：黒石市大字市ノ町5-2	8月10日（水）	青森県農業共済組合 ひろさき支所 住所：弘前市大字門外字村井262
8月4日（木）	平賀農村環境改善センター 住所：平川市新館野木和20-1	8月10日（水）	藤崎町文化センター 住所：藤崎町大字西豊田１丁目１

収入保険の加入要件である青色申告に関して、税理士が個別に対応する相談会を開催します。

参加料は無料です。ただし、各回先着４名ですので、ご都合の良い日時でお早めにお申し込みください。

～ 相談会の内容 ～
○青色申告への切り替え手続き、記帳方法
○青色申告の書類作成等の一連、収入保険の説明

NOSAI 安心のネットワーク

■問い合わせ・申込先　青森県農業共済組合 ひろさき支所 収入保険課　☎ ２８－５７００

一人で作業をする時は家族に場所を伝えましょう！

令和５年度　弘前市農業振興支援事業に係る要望調査をします

農業者の皆さまを支援する各種事業について、令和５年度実施に係る要望を事前に調査します。活用希望の方はお知らせください。

◆調査目的　今後実施が予定される各種事業に迅速に対応するため、市内の農業者等の要望を事前に把握しようとするものです。
◆調査期間　８月１日（月）～８月31日（水）
◆調査事項　希望者の氏名、住所、連絡先、要望する事業の概要など。
◆回答方法　電話または下記担当窓口にてお知らせください（土・日・祝日は除きます）。

	事業名	事業概要	対象者	補助金額など
1	農業労働力雇用環境整備事業	補助労働力の確保のために必要な農地等への仮設トイレの設置を支援	農業者、農地所有適格法人 ※要件あり	対象経費の１/２以内 （上限額：10万円）
2	経営継承・発展支援事業	後継者が行う経営発展の取組に必要な経費（専門家への謝金や旅費、研修費、機械装置等費、広報費等）を支援	人・農地プランにおける中心経営体等である先代事業者から経営の移譲を受けた後継者 ※要件あり	対象経費の実支出額 （上限額：100万円）
3	農作業省力化・効率化対策事業	農業経営の改善・発展を図る上で必要な、①農業機械、②農業用ハウス、③荷捌き場等の整備を支援	農業者、農地所有適格法人、農業者等が組織する団体	対象経費の１/３以内 （上限額：①・②は50万円、③は23万円） ※一定の要件を満たす場合、補助率や上限額を拡充・優先枠設定
4	農地利用効率化等支援交付金	農地利用の集約化を目指し、生産の効率化に取り組む場合に必要な農業機械・施設の導入を支援	人・農地プランにおける中心経営体等	融資残のうち事業費の３/10以内 等 （上限額：300万円 等）
5	集落営農活性化プロジェクト促進事業	集落営農の活性化を図るため、ビジョンづくりやその実現に向けた取組を総合的に支援	集落営農組織	①ビジョンづくり支援：定額 ②具体的な取組の実行への支援 （共同利用機械等の導入：１/２以内 等）
6	野菜・花き産地育成事業	野菜・花き生産の省力化や高品質化等に必要な機械やパイプハウス等の導入を支援	認定農業者、認定新規就農者、農地所有適格法人、農業者等が組織する団体等	対象経費の１/４以内 ※パイプハウスについては上限額：5,352円/㎡
7	環境保全型農業直接支払交付金	化学肥料・農薬を慣行栽培より５割以上低減させる取組と併せて行う各種取組を支援	農業者等が組織する団体等 ※要件あり	取組に応じて面積当たり一定額を交付 （有機農業：1.2万円/10ａ 等）
8	農山漁村発イノベーション推進支援事業	２次・３次産業と連携した加工・直売に係る商品開発等を支援	農林漁業者等	定額、対象経費の１/２以内 （上限額：500万円）
9	産地生産基盤パワーアップ事業	産地の収益力強化に必要な農業機械の導入、集出荷施設の整備等を支援	産地パワーアップ計画に位置付けられた農業者等	対象経費の１/２以内 等
10	りんご防除機械等導入事業	スピードスプレヤー、貯水槽、揚水・配水用機械・器具の導入を支援	３戸以上の農業者等が組織する団体	①収入保険・果樹共済に全員加入済みの団体 20％以内（上限額：140万円/台） ②上記以外（地域の産地保全活動等が条件） 20％以内（上限額：100万円/台）
11	りんご園防風網張替事業	りんご園の防風網の張替えを支援	収入保険・果樹共済に加入済み等の農業者、農地所有適格法人	対象経費の１/３以内 （上限額：18万円）
12	強い農業づくり総合支援交付金	集出荷貯蔵施設等の産地基幹施設の整備等を支援	農業者等が組織する団体等	１/２以内等 （上限額：20億円 等）
13	農産物等輸出拡大施設整備事業	国産農産物等の輸出促進のための輸出対応型の集出荷貯蔵施設等の整備を支援	農業者等が組織する団体等	１/２以内等 （上限額：20億円）
14	特産果樹産地育成・ブランド確立事業	複合経営に向けた特産果樹の栽培に必要な取組（①新植用の苗木や支柱・樹棚、②雨よけハウス等の導入）を支援	認定農業者、認定新規就農者	①の場合：対象経費の１/４以内 ②の場合：対象経費の１/３以内
15	土地改良事業	農業生産基盤に係る次のような取組を支援 ①農道の舗装、補修等 ②用排水施設等の新設・改修等 ③ほ場整備、土層改良、暗きょ排水整備等 ※この他、国の様々な事業もあります。	土地改良区、共同施行者（当該事業を共同で行う数人の者で構成）、農業協同組合	①小規模農道整備 （舗装：55％以内、補修：45％以内 等） ②かんがい排水：50％以内 ③農地整備：30％以内
16	りんご樹雪害対策農道等除雪事業	りんご樹の雪害対策等に必要な農道等の除雪を支援	農業者、農地所有適格法人、農業者等が組織する団体、農業協同組合	次のいずれか少ない額の１/２ ①１㎞当たりの除雪単価を乗じて得た金額 ②対象経費の実支出額の合計額

※この調査は、あくまで事前調査であり、事業の申請ではありません（今回の調査で回答がない方でも申請可能です）。
調査終了後でもご相談等は随時受け付けしていますので、お気軽にお問い合わせください。
具体的な事業内容等が決まり次第、ひろさき農業メールマガジン等でお知らせします。メールマガジン配信登録はこちら↓
なお、補助事業の内容は令和４年度実施分を記載していますので、今後変更の可能性があります。

◆事業の詳細はこちら（令和４年度版農業振興支援事業一覧）
http://www.city.hirosaki.aomori.jp/sangyo/nogyo/2022-0201-1431-36.html

事業詳細

メールマガジン

■問い合わせ先

１の事業	農政課地域経営係	☎４０－７１０２			
２の事業	農政課担い手育成係	☎４０－０７６７	**10～13の事業**	りんご課生産振興係	☎４０－７１０５
３～５の事業	農政課農地支援係	☎４０－０６５６	**14の事業**	りんご課企画推進係	☎４０－７１０５
６～９の事業	農政課農産係	☎４０－０５０４	**15～16の事業**	農村整備課農村整備係	☎４０－２９５５

複数人での農作業や休憩で事故防止を！

農業者向け青色申告研修会の開催～はじめてみよう！自分でできる青色申告！～



◆**日　　程**　８月29日（月）、８月30日（火）
◆**場　　所**　中央公民館岩木館　大研修室
（弘前市大字賀田一丁目18－３）
◆**内　　容**　右表のとおり
・内容は変更となる場合があります。
・１日目のみ、２日目のみの参加も可能ですが、これから青色申告に取り組む方は、可能な限り両日ともご参加ください。
◆**定　　員**　両日35名（先着順）
◆**対 象 者**　これから青色申告を始めることを検討している市内の農業者
◆**参 加 費**　無料
◆**申込方法**　８月25日（木）までにひろさき農業総合支援協議会事務局（弘前市農政課内）へお申し込みください。
※定員に達した場合はお断りさせていただく場合もございます。
※ＦＡＸ、メールの場合は、氏名、電話番号、参加希望区分（１日目のみ、２日目のみ、両方）を明記してください。

■問い合わせ・申込先
ひろさき農業総合支援協議会事務局（弘前市農政課地域経営係）
（市役所前川本館３階）☎４０－７１０２ FAX３２－３４３２
Ｅメール　nousei@city.hirosaki.lg.jp

１日目（午前９時30分～午後５時）

内容	講師
農業の青色申告の概要 単式簿記の基礎 複式簿記の基礎	青森県農業会議
収入保険について	ＮＯＳＡＩ青森

２日目（午前９時30分～午後４時40分）

内容	講師
複式簿記の実践	青森県農業会議
農業簿記ソフトについて	ソリマチ㈱盛岡

アシストスーツの貸出について

運搬作業等における身体的負担の軽減が期待できるスマート農機として、りんご生産現場での活用の可能性が期待されている「アシストスーツ」を貸出します。
貸出にあたっては、書類の提出が必要となりますので、ご希望される方は下記担当までお知らせください。市ＨＰにも詳細について掲載しております。



■問い合わせ・申込先　りんご課企画推進係
（市役所前川本館３階）☎４０－０４８２

青森県産業技術センター 令和4年度農林総合研究所・りんご研究所参観デー

【共　　通】
◆**日時**　９月６日（火）、９月７日（水）午前９時～午後３時

【農林総合研究所】
◆**場所**　黒石市大字田中82－９
◆**内容**　研究成果の展示・紹介、水稲品種「はれわたり」試食品配布、農業相談コーナー、花の販売、最先端省力化農業機械展示・実演会など
■問い合わせ先　☎５２－４３１２

【りんご研究所】
◆**場所**　黒石市大字牡丹平字福民24
◆**内容**　研究成果の展示・紹介、ほ場見学ツアー、果樹相談コーナー、農業資材やりんごの販売など
■問い合わせ先　☎５２－２３３１

ため池・用排水路などでの水難事故に注意！

農業用のため池や用排水路などは、誤って転落すると不慮の事故につながる危険性があります。農業等の本来の目的以外では不用意に近づかず、取水や管理作業等の際には、複数人で行うなど、十分に気を付けてください。
また、施設管理者は、水難事故の未然防止を図るために安全管理の徹底をお願いします。
さらに、日頃からの呼びかけも重要ですので、ため池や用排水路などに不用意に近づいている方を見かけた場合は、注意喚起のために声がけをするなど、地域の皆さんのご協力をお願いします。



■問い合わせ先　農村整備課農村整備係
（市役所前川本館３階）☎４０－２９５５

農業委員会活動目標を策定しました

市農業委員会では、優良農地の確保や遊休農地の解消、担い手への農地集積に向けた令和４年度活動目標を策定するとともに、実績をもとに令和３年度活動計画に対する点検と評価を行いました。
【市ホームページ】
農業・商工業・観光 ＞ 農業情報 ＞ 農業委員会による最適化活動の推進等について
または右記ＱＲコードから
■問い合わせ先　農業委員会事務局（市役所前川本館３階）
☎４０－７１０４

りんご防除機械等導入事業について

市では、弘前市内に住所を有する３戸以上の農業者で構成され、かつ、組織の運営に関する規約などがある団体（共同防除組合など）がスピードスプレヤー、貯水槽及び揚水・配水機械器具の導入に対する補助事業を実施しております。
このたび、令和４年度事業分の３次募集を行いますので、応募を希望される方は下記までご連絡ください。
◆**応募締切**　8月1日(月)から8月31日(水)まで
■問い合わせ先　りんご課生産振興係
（市役所前川本館３階）☎４０－７１０５
＜詳細はこちら＞